

第35期(平成27年5月期) 決算説明会

平成27年8月20日

株式会社 京進 (東証二部:4735)

第35期決算業績補足説明・教室展開

第35期(平成27年5月期)業績の補足説明

▼セグメント別売上高と増収要因

事業セグメント	第35期 (平成26年6月-平成27年5月) 売上高(前年比)	第34期 (平成25年6月-平成26年5月) 売上高
第1教育事業 (学習塾およびフランチャイズ事業)	9,483百万円(100.6%)	9,430百万円
第2教育事業 (幼児教育および日本語教育、国際人材交流事業)	583百万円(147.1%)	396百万円
第3教育事業 (英会話および保育事業)	765百万円(232.6%)	329百万円
全社または相殺	▲6百万円(-)	▲8百万円
連結合計	10,825百万円(106.7%)	10,148百万円

●第1教育事業(学習塾およびフランチャイズ事業)が堅調に推移し、また、第2教育事業の日本語教育事業、第3教育事業の英会話事業・保育事業が大幅な増収(保育事業においては子会社買収が寄与)

第35期(平成27年5月期) 教室展開

▼開校・統廃合一覧 (平成26年6月～平成27年5月)

業態(ブランド)		開校数		統廃合数
個別指導学習塾 (京進スクール・ワン)		6校	岩手1教室、愛知3教室、大阪2教室 (すべてフランチャイズ教室)	5校
小学受験学習塾 (京進ぶれわん)		—		1校
日本語学校 (京進ランゲージアカデミー)		2校	ミャンマーヤンゴン校 (持分法適用関連会社運営) 華聯学院京都校(京都) (営業権取得)	1校 (譲渡)
英会話教室 (京進ユニバーサルキャンパス)		1校	池田校(大阪)	—
保育園 (HOPPA・ビーフェア)	譲受	8園	(ビーフェア) 東京8園	—
	新規	7園	(HOPPA) 滋賀4園、兵庫1園 (ビーフェア) 東京2園	—

第35期(平成27年5月期) 教室展開

▼保育事業の積極的展開

●ビーフェア株式会社の株式を取得し子会社化(平成26年8月)



- 東京都認証保育所 7園を運営
 (ひばりが丘、武蔵関、柳沢、田無、南大泉、三鷹、向台)
- 1園運営委託(杉並)

●小規模認可保育施設を中心に積極的な開園(平成27年4月)



- <小規模認可保育施設>
 HOPPA草津若竹、HOPPA南草津駅前
 HOPPA野村、HOPPA大路 (滋賀県草津市)
 HOPPA灘(兵庫県神戸市)

<小規模保育施設>
 0~3歳児未満児を19人以下の定員で保育する小規模保育施設(2015年4月1日より児童福祉法に基づく認可保育所となる)



- <小規模認可保育施設>
 ビーフェア目黒(東京都)
- <東京都認証保育園>
 ビーフェア阿佐ヶ谷南(東京都)

平成27年5月末現在
 グループ保育園
合計17園



第35期(平成27年5月期) 教室展開

▼日本語学校の展開

- **京進ランゲージアカデミー(KLA)ヤンゴン校 開校(平成27年1月)**
(持分法適用関連会社(KYOSHIN JETC CO.,LTD)によって運営)

● ミャンマーのMITV放送局で、現地での開校式典の様子が大きく報じられました。

● テレビ東京の経済番組でもヤンゴン校の様子が取り上げられました。



- **華聯学院京都校 営業権取得(平成27年4月)**

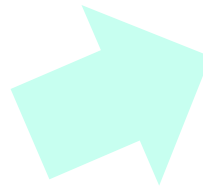
第35期活動実績(トピックス)

創業40周年を迎えました

平成27年5月末に創業満40周年を迎えることができました。
これまで応援してくださったすべての方々に、
改めて心より感謝申し上げます。

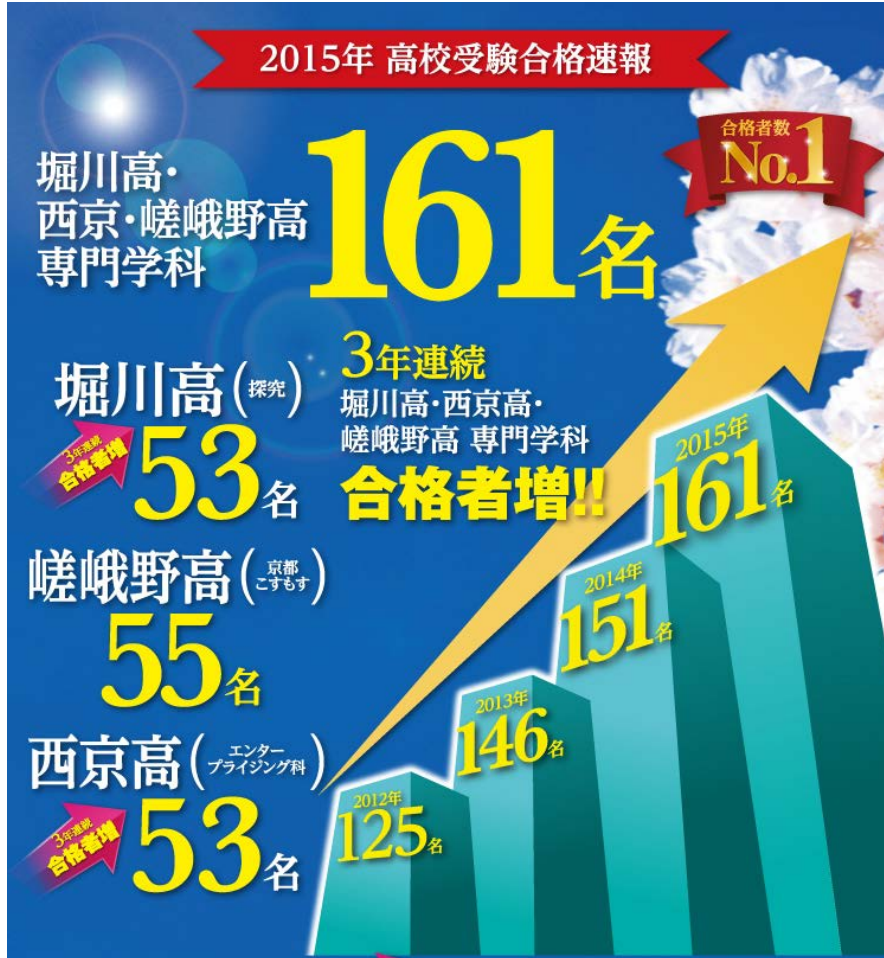


創業当時のビル(京都市東山区)



現在の本社ビル(京都市下京区)

平成27年春 合格実績①



「自ら学ぶ」姿勢を育む指導の成果が合格実績にも現れてきています!

平成27年春 合格実績②

2015年 大学受験合格速報

東大 京大 国公立大学 医学部医学科 **14**名
自治医科大学医学部 **トップ合格!**

28名合格 **28**名 **19**名

2015年 2014年

東京大学・京都大学

国公立合計 **571**名
関関同立 **957**名
産近甲龍 **1236**名

東大・京大現役合格者数
前年比 **1.5**倍

※京進グループ全体の合計数値です ※2015年4月13日現在

清華・京進発展フォーラム

中国・清華大学と共同で、今後10年間にわたり活動を行う、日中文化及び経済の友好交流を目的とした「**清華・京進発展フォーラム**」を設立しました。



- **第1回清華・京進発展フォーラム(平成27年1月27日・28日)**
「東アジア文化伝統と現代社会」

<日本側ゲスト>

千玄室氏(茶道裏千家第15代家元)

中西進氏(京都市立芸術大学名誉教授)

濱本良一氏(国際教養大学教授)

竹宮恵子氏(マンガ家、京都精華大学学長)

櫻井孝昌氏(プロデューサー、作家、デジタルハリウッド大学特任教授)

<場所> 北京・清華大学

<主催> 株式会社京進、清華大学政治経済学研究センター

<協力> 清華大学東アジア文化講座、国際マンガ中国委員会など

<後援> 在中国日本国大使館

<協力メディア> CCTV中央テレビ局、人民日報社など



千玄室氏



竹宮恵子氏

社員研修レポート

～子ども心とホスピタリティを学ぶ～

一般企業として初めてキッザニアの施設貸切研修を実施

子どもたちの将来の夢やキャリアを一緒に考え、それに向かって共に行動する上で、キッザニアで行われている職業・社会体験を通じたキャリア教育の最先端を知ることが大きな学びになると考えました。



▲平成27年6月4日産経新聞掲載



大学生の活動への支援(CSR)

教育を通じた社会貢献の一環として、未来の世界を作り上げる若者たちの活動を積極的に支援しています。



▲若者超会議2015

京都から統一地方選挙を盛り上げる啓発イベントへ協賛



▲Social Makers Camp2015

社会貢献意欲の高い学生のためのビジネスコンテストに協賛・リーディングで研修実施



▲京都産業大学PBL授業

Project Based Learning=課題解決に挑戦し実践力を育成する授業に参加

日本語教育事業・保育事業の紹介映像

当社グループの成長事業でもある日本語教育事業(日本語学校)、保育事業(保育園)の様子をまとめた映像をご覧ください。



中長期方針について

2020年ビジョン

長期構想「日本一の総合教育企業グループを目指す」
に向けて、**2020年時点でのマイルストーン**を設定

<2020年ビジョン>

学習塾市場で差別化を推し進めるとともに、
その他の教育関連市場で積極的な拡大展開を図り、
連結売上高200億円を目指します。

▼重点方針

「**成長を支える人材の確保・育成、職場環境の整備**」

●最も重要な課題は「**人材の確保・育成**」

- ・採用プロセスの改革に着手(採用の量的・質的確保)
- ・個人の成長目標の具体化と自ら成長し評価される風土の構築
- ・男女問わず活躍できる職場や働きやすい職場の構築

2020年ビジョンに向けて

▼事業別の方針

事業セグメント	方針
第1教育事業 (学習塾およびフランチャイズ事業)	文部科学省中央教育審議会で「社会を生き抜く力の育成」が大きなテーマとなっています。これを追い風に「自ら学ぶ人」「自立できる人」を育てるという価値(リーチングメソッド)の提供で差別化を進めるとともに、 戦略的な開校 で拡大を図ります。
第2教育事業 (幼児教育および日本語教育、国際人材交流事業)	文部科学省が2008年から進めている「留学生30万人計画」を背景に、留学生を対象にした日本語教育の提供を軸として、 国内外での日本語学校の積極的開校、外国人人材の日本企業への紹介 を拡大します。
第3教育事業 (英会話および保育事業)	小学生への英語教育の早期化(低学年への移行)、国や各自治体における待機児童解消の動きに伴う市場の伸びを先取りし、 積極的な開校・開園を進めるとともに、将来に向けて、当社のノウハウを活かした差別化商品・サービスを準備 していきます。

2015-2017年度 中期方針

2020年ビジョン実現に向けた3ヶ年
変化に対応し、限界を設けず、
絶えざる革新でチャレンジし、
ビジョン実現に向けて、
「オール京進(京進グループ)」
で前進しよう！

キーワードは、「変化」「連帯感」

中長期数値目標

▼中長期の数値目標

		平成27年5月期 (2014年度) 実績	平成30年5月期 (2017年度) 目標	平成33年5月期 (2020年度) 目標
売上高	第1教育事業 (学習塾およびフランチャイズ事業)	9,483百万円	11,000百万円	13,000百万円
	第2教育事業 (幼児教育および日本語教育、国際人材交流事業)	582百万円	1,400百万円	3,000百万円
	第3教育事業 (英会話および保育事業)	765百万円	2,000百万円	4,000百万円
合計(事業間相殺消去含む)		10,825百万円	14,400百万円	20,000百万円
経常利益率		2.0%	3.5%	5.0%

※本表の目標は、当社が2020年度に向けて達成を目指すとした数値目標であります。現時点で入手可能な情報に基づき経営判断したものでありますが、その実現を確約し、または内容の正確性を保障するものではありません。実際の業績は、様々な要因により異なる可能性があります。

直近の業績動向

▼学習塾事業の今春の入室数状況

事業セグメント	平成27年3-7月 5ヶ月合計入室数	前年比	平成26年3-7月 5ヶ月合計入室数
第1教育事業 (小中部・高校部・ 個別指導部・FC事業部)	9,325名	106.8%	8,732名

※FC事業部の入室数はフランチャイズ教室の入室数

▼直近のセグメント別売上高

セグメント	平成27年6・7月 2ヶ月合計売上高	前年比	平成26年6・7月 2ヶ月合計売上高
第1教育事業	1,344百万円	103.0%	1,305百万円
第2教育事業	112百万円	132.5%	85百万円
第3教育事業	191百万円	282.1%	67百万円
連結合計	1,649百万円	113.1%	1,458百万円

最後に

当社グループでは、
基幹事業である学習塾事業(第1教育事業)での
収益の向上を図りつつ、
次の中心事業(第2教育事業・第3教育事業)の
成長に注力して参ります。

今後とも、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。